

# 暑い夏



今年の夏も暑<sup>あつ</sup>かったなあ。



地球温暖化<sup>ちきゅうおんだんか</sup>の影響<sup>えいきょう</sup>かしらね、年々<sup>ねんねん</sup>暑くなっていますよね。



ほんとに昔の夏はこんなに暑くなかったよね。



ヒートアイランドというの也被<sup>ほそう</sup>われてる。道路が舗装されて、高いビルがどんどん建<sup>はいき</sup>って緑は減<sup>はいき</sup>っていく。それに車の排気ガスや工場<sup>はいねつ</sup>の排熱で、熱がこもって夜も気温が下がらないんだよ。エアコンだってそうさ。どの家も室外機<sup>しつがいき</sup>から熱風<sup>ねっふう</sup>を吹き出<sup>がいきおん</sup>してれば、外気温が上がるんだよ。それで暑いからってエアコン使<sup>あくじゅんかん</sup>えば、外はますます暑くなる悪循環だ。おれなんか、どんなに暑くても網戸<sup>あみど</sup>と扇風機<sup>せんぷうき</sup>で耐<sup>た</sup>えられるのにさ、陽子はすぐにエアコンつけるからさ。少しは節電<sup>せつでん</sup>に協力してほしいよ。



エアコン

家庭にエアコンが普及し始めた昭和40年代は「クーラー」と呼ばれ、冷房<sup>れいぼう</sup>と送風<sup>そうふう</sup>のみで、暖房<sup>だんぼう</sup>はなかった。



現代の扇風機<sup>せんぷうき</sup>



昭和10年代（1940年頃）の扇風機<sup>せんぷうき</sup>



おれの部屋も暑いから、一晩中エアコンつけっぱなしだよ。  
じゃないと熱中症ねっちゅうしょうになっちゃうよ。今の家じゃあ、エアコン  
が無きゃ生きていけないね。



私はだめだねえ。エアコンは慣れないせいか節々ふしぶしが痛くなっ  
ちまうよ。自然の風が一番だねえ。

\*節々：からだのあちこちの関節かんせつのこと。



エアコンがなかったらどうなっちゃうの？



はだかはだか た耐えるしかないよ。でもむかしの家はたしかに過ごしやす  
かったなあ。

## かや 蚊帳



かや つ  
蚊帳を吊った展示



あっ、お部屋の中に網あみのテントを張ってる。ここで寝ねるんだね。



かや蚊帳だよ。蚊が多いから夏は家族みんながふとん並べて寝たんだよ。



あみど網戸はなかったの？



網戸は新築しんちくしてサッシになってからだね。



まどまどしし窓を閉めれば蚊は入からないじゃないの？



むかしの家は、昼は戸とを開け放して風を通してるから、蚊もはえ蠅も入り放題なんだよ。



それにすきまが多かったからね。



じゃあ、おうちの中でもベープマットが必要ね。



当時はそんな気の利きいたものはないから蚊取り線香せんこうだよ。



私なんか子どもの頃は、もち草ぐさを干していぶしてたねえ。

\*もち草：よもぎのこと。草もちに入れてつくことから呼ばれる。香りが良く、燃やした煙けむりに虫よけこうかの効果がある。



はいちよう  
食卓にかぶせ、ハ  
工が食べものにた  
かるのを防ぐ道具



昭和 20 年代の蚊取り線香



蚊帳に出入りするときも、うっかり入ると中に蚊を連れてき  
ちまうから、うちわで追っ払って入るんだよ。



でも、蚊帳の中でみんなが一緒に寝るなんて、いいなあ。



おばあさんがね、昔話とかしてくれたよ。



蚊帳吊る前におふとんの上に広げとくでしょ。そしたら勇な  
んかはしゃいじゃって、「海だあ」とか言って蚊帳の上で泳い  
でんだよ。まあ、にぎやかだったね。



昭和 10 年代のうちわ



氷冷蔵庫 上段の氷室  
に氷を入れて冷やした。



あら、氷の冷蔵庫よ。実家では毎朝氷屋さんが配達に来てく  
れたの。



うちじゃあ、新築して電気の冷蔵庫を買うまでなかったねえ。  
むかしはぜんぶ井戸だったよ。すいかでも残ったおそばでも  
みんな井戸につるしといたねえ。



井戸水は夏でも冷たいから農家じゃ井戸が冷蔵庫がわりだっ  
たんだ。

# 辰雄じいちゃんに教わる、<sup>すず</sup>涼しい家の<sup>ひけつ</sup>秘訣

おお  
大じいちゃん、むかしの家はそんなに過  
ごしやすかったの？



おお、まあ特別なことはねえけんどよ。

①むかしの家は軒<sup>のき</sup>が張り出して<sup>ひざ</sup>るから日射しがさえぎられるんだ。

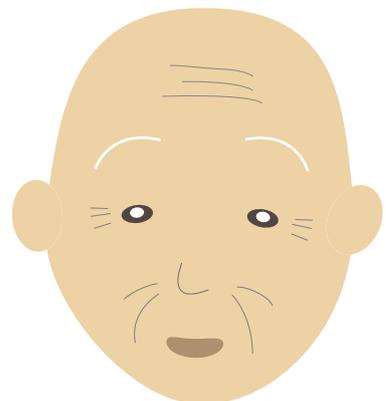
②茅ぶき屋根は、とってもぶ<sup>あつ</sup>厚く<sup>ふ</sup>葺いてあんだよ。だから、上から照りつける熱が、家の中に入ってこねえんだ。壁<sup>かべ</sup>も厚く土<sup>ぬ</sup>を塗ってできてるから熱を通さねえ。

③それによ、むかしの家は天井<sup>てんじょう</sup>が高いんだ。おれが小さい頃なんか、土間<sup>どま</sup>や座敷<sup>ざしき</sup>は天井を張<sup>やねうら</sup>ってないから屋根裏<sup>すどお</sup>まで素通<sup>すどお</sup>しだったんだよ。そうすると暖<sup>あつた</sup>かい空気は上<sup>のぼ</sup>に昇<sup>のぼ</sup>ってくからよ、下は涼<sup>すず</sup>しくなるとい<sup>りくつ</sup>う理屈だ。

④なんといっても風<sup>かぜとお</sup>通<sup>とお</sup>した。むかしの家は戸<sup>かど</sup>がでかいから、開けりゃあ、風がどんどん入<sup>い</sup>ってくる。部屋<sup>しやうじ</sup>の障子<sup>しょうじ</sup>や襖<sup>ふすま</sup>を開けりゃあ、紙<sup>し</sup>くずなんか裏庭<sup>うらにわ</sup>まですっ飛<sup>と</sup>んで<sup>し</sup>ちまったよ。戸<sup>かど</sup>を閉<sup>し</sup>めてもすきま風が入<sup>い</sup>ったしよ。

まあ、そんなとこかな。たいしたことじゃあねえけんどよ。

茅ぶき屋根は夏涼しく、<sup>すず</sup>  
冬暖かいっていわれる  
もんね。私もそんな家に  
住んでみたいな～。





草ぶき屋根の民家 昭和50年 徳延



てんじょう板を張らず、屋根裏まで素通しの民家 西真土